

## 製品安全データシート

### 1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	アルバリン粒剤
製品コード	AK3218J
会社名	アグロ カネショウ株式会社
住所	〒107-0052 東京都港区赤坂4-2-19 赤坂サステイスト7F
電話番号	03-5570-4711 (所沢事業所:04-2003-7006)
緊急時の電話番号	同上
FAX番号	03-5570-4708 (所沢事業所:04-2003-7302)
メールアドレス	<a href="mailto:toiawase@agrokanesho.co.jp">toiawase@agrokanesho.co.jp</a>
推奨用途及び使用上の制限	農薬(殺虫剤)

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性 健康に対する有害性	水反応可燃性化学品	区分外
	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分外
	皮膚感作性	区分外
	発がん性	区分1
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分1(呼吸器系)
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分1(呼吸器系、腎臓)
	環境に対する有害性	水生環境急性有害性
水生環境慢性有害性		区分2

※記載がないものは「分類対象外」または「分類できない」

#### ラベル要素

#### 絵表示又はシンボル



#### 注意喚起語

#### 危険有害性情報

危険  
**H350** 発がんのおそれ  
**H370** 呼吸器系の障害  
**H372** 長期にわたるまたは反復暴露による呼吸器系、腎臓の障害  
**H411** 長期継続的影響によって水生生物に毒性  
 有用生物類の蚕、ハチに対しても毒性が強いため、環境への影響に注意すること。

#### GHS分類に該当しない

#### 他の危険有害性

#### 注意書き

#### 【安全対策】

**P201** 使用前に取扱説明書を入手すること。  
**P202** 全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。  
**P260** 粉じんを吸入しないこと。  
**P264** 取扱い後はよく手を洗うこと。  
**P270** この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

P273 必要な時以外は、環境への放出を避けること。  
 P280 保護マスク/保護手袋/保護眼鏡/保護衣/保護面を着用すること。  
 【応急措置】  
 P308+P311 暴露又はその懸念がある場合、医師に連絡すること。  
 P314 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。  
 P391 漏出物を回収すること。  
 【保管】  
 P405 施錠して保管すること。  
 【廃棄】  
 P501 内容物、容器を都道府県知事／市町村の規則に従って、適切に廃棄すること。  
 使用済み容器は、他の用途に使用しないこと。

**3. 組成及び成分情報**

単一製品・混合物の区別	混合物
成分及び含有量	
[有効成分]	
化学名又は一般名	(RS)-1-メチル-2-ニトロ-3-(テトラヒドロ-3-フリルメチル)グアニジン (別名 ジノテフラン)
分子式(分子量)	C7H14N4O3
CAS番号:	165252-70-0
官報公示整理番号	化審法 : (5)-6767
(化審法・安衛法)	安衛法 : 8-(4)-1339
濃度又は濃度範囲	1%
[その他の成分1]	
化学名又は一般名	石英(結晶性シリカ)
分子式(分子量)	-
CAS番号:	14808-60-7
官報公示整理番号	化審法 : (1)-548
(化審法・安衛法)	安衛法 : -
濃度又は濃度範囲	30~35%
[その他の成分2]	
化学名又は一般名	鋳物質微粉等
濃度又は濃度範囲	59~64%

**4. 応急措置**

吸入した場合	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、医師の診断、手当てを受けさせること。
皮膚に付着した場合	汚染された衣類を取り除き、石鹼と多量の水で洗い流すこと。皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
目に入った場合	直ちに水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	無理に吐かせないで直ちに医師の診断、手当てを受けさせること。

**5. 火災時の措置**

消火剤	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤	棒状放水
特有の危険有害性	火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生

特有の消火方法  
 消火を行う者の保護

するおそれがある。  
 危険でなければ火災区域から容器を移動する。  
 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。  
 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

**6. 漏出時の措置**

人体に対する注意事項、保護具  
 および緊急時措置

環境に対する注意事項

封じ込め及び浄化方法・機材

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。  
 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。  
 作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵等を吸入しないようにする。  
 風上から作業し、風下の人を待避させる。  
 流出した製品が河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。  
 回収後の少量の残留分は土砂またはおがくず等に吸収させる。  
 漏出物を直接に河川や下水に流してはならない。

**7. 取扱い及び保管上の注意**

取扱い 技術的対策

局所排気・全体換気

注意事項  
 安全取扱い注意事項

保管 保管条件

容器包装材料

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。  
 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。  
 みだりにエアロゾル等が発生しないように取り扱う。  
 屋外または換気の良い場所で取り扱うこと。  
 ミストや蒸気を吸入しないこと。  
 眼、皮膚、衣類に付けないこと。  
 取扱い後はよく手を洗うこと。  
 直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。  
 施錠して保管すること。  
 クラフト紙袋、クラフト加工紙袋、樹脂製容器等

**8. ばく露防止及び保護措置**

設備対策  
 管理濃度  
 許容濃度  
 (ばく露限界値、生物学的ばく露指標)  
 日本産衛学会(2009年版)

ACGIH(2010年版)

保護具 呼吸器の保護具  
 手の保護具  
 眼の保護具  
 皮膚及び身体の保護具

衛生対策

局所排気装置を設置すること。  
 0.074 mg/m<sup>3</sup> (鉱物性粉じんとして)  
 第1種粉じん 吸入性粉じん 0.5mg/m<sup>3</sup>  
 総粉じん 2mg/m<sup>3</sup>  
 0.03mg/m<sup>3</sup> (吸入性結晶質シリカとして)  
 TWA 0.025 mg/m<sup>3</sup> (石英)  
 適切な呼吸器保護具(保護マスク)を着用すること。  
 適切な保護手袋(不浸透性手袋)を着用すること。  
 適切な眼の保護具(ゴーグル型保護眼鏡)を着用すること。  
 適切な保護衣(耐薬品性エプロン等)を着用すること。  
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
 取扱い後はよく手を洗うこと。  
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

**9. 物理的及び化学的性質**

物理的状態 形状  
 色  
 pH

細粒  
 類白色  
 8.2

比重(密度) 0.95(見かけ比重)  
 粉じん爆発下限界濃度 >5000mg/L(22℃、湿度58%)

**10. 安定性及び反応性**

安定性 通常の条件下では安定。  
 危険有害反応可能性 通常の条件下では安定。  
 避けるべき条件 加熱  
 混触危険物質 強酸化性物質  
 危険有害な分解生成物 通常の条件下では生成しない。  
 加熱や燃焼により分解し、有害ガス(窒素酸化物)を発生するおそれがある。

**11. 有害性情報**

急性毒性 経口 ラットLD50値 >5000 mg/kg  
 経皮 ラットLD50値 >2000 mg/kg  
 皮膚腐食性・刺激性 刺激性なし。  
 眼に対する重篤な損傷・刺激性 軽度の刺激性。  
 呼吸器感受性又は皮膚感受性 皮膚感受性： 陰性。  
 発がん性 区分1Aの結晶質シリカを約30%含有することから、区分1とした。  
 特定標的臓器毒性(単回暴露) 区分1(呼吸器系)の結晶質シリカを約30%含むことから、区分1とした。  
 特定標的臓器毒性(反復暴露) 区分1(呼吸器系、腎臓)の結晶質シリカを約30%含むことから区分1とした。

**12. 環境影響情報**

水生環境急性有害性 コイ:LC50値 >5000mg/L(96時間)  
 ミジンコ:EC50値 >50000mg/L(48時間)  
 藻類:EC50値 >1000 mg/L(72時間)  
 水生環境慢性有害性 区分1であるジノテフランの10×毒性乗率×成分濃度が以上となることから、区分2とした。

**13. 廃棄上の注意**

残余廃棄物 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。  
 汚染容器及び包装 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。  
 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

**14. 輸送上の注意**

国際規制 海上規制情報 IMOの規定に従う。  
 UNNo. 3077  
 Proper Shipping Name ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID,N.O.S.  
 Class 9  
 Packaging group III  
 Marine Pollutant yes  
 航空規制情報 ICAO/IATAの規定に従う。  
 UNNo. 3077  
 Proper Shipping Name ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID,N.O.S.  
 Class 9  
 Packaging group III  
 国内規制 輸送に関する国内法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。  
 特別安全対策 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、

漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。  
重量物を上積みしない。  
171(低、中程度の危険性物質)

**緊急時応急措置指針番号**

**15. 適用法令**

農業取締法	第20806号
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	該当なし
労働安全衛生法	57条の2通知対象物質: シリカ(政令番号:312)
化学物質の審査及び製造等の規制 に関する法律(化審法)	第2条第5項優先評価化学物質 プロパン-1,2-ジオール

**16. その他の情報**

**公益財団法人 日本中毒情報センター**

散布作業中や散布後に異常を感じた場合は、直ちに医師の手当てを受けてください。  
処置法などで不明なことは、医師から下記に電話してお尋ねください。

中毒110番	一般市民向け	医療機関専用有料電話 (1件につき2,000円)
大阪 (365日, 24時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365日, 9~21時対応)	029-852-9999	029-851-9999

1. 記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。
2. 注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。
3. 記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。